

令和7年度 第1回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和7年7月2日 開 催

豊橋市教育委員会

第1回 総合教育会議	
日時	令和7年7月2日(水) 午後3時00分～4時30分
場所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	長坂 尚登 市長 内浦 有美 教育委員 中島 美奈子 教育委員 原田 憲一 教育長 渡辺 嘉郎 教育委員 西島 豊 教育委員
事務局	稲田 浩三 副市長 山本 誠二 財務部長 石川 和志 教育部長 鈴木 大介 教育政策課長 加藤 友治 教育会館長 角野 洋子 企画部長 林 真也 財政課長 伊丹 浩之 学校教育課長 ほか 5名
その他	傍聴人 6名

議事日程

協議事項

- 1 教育大綱の見直し
- 2 いじめの現状と課題について
- 3 不登校の現状と課題について

連絡事項

次回開催日程 令和7年8月25日(月) 15:00～

(教育部長)

ただいまから、令和7年度第1回豊橋市総合教育会議を開催いたします。お手元の次第に沿って進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。本日の協議事項は、「教育大綱の見直し」「いじめの現状と課題について」「不登校の現状と課題について」です。それでは、資料1を事務局から説明してください。

協議事項

1 教育大綱の見直し

■教育政策課主査 協議事項について資料説明

(教育部長)

説明にもありましたが、教育大綱は自治体の長が策定することとなっておりますので、はじめに市長より、大綱案に込められた想いや意図について説明いただきたいと思えます。

(長坂市長)

教育大綱を考えるにあたり、いくつかの自治体の大綱を見たところメッセージ形式や、計画と一体化しているものなどさまざまなものがありました。私としては子どもたちにしっかりと伝わるものがよいと思い、「自分を大切にできる人になろう」「周りを大切にできる人になろう」「地域を大切にできる人になろう」の3つとしました。これらは並列ではなく、順番に大切にできる人になってほしいという意図があります。

まずは「自分」です。いじめや不登校などありますが、自分の気持ち、からだ、安全、夢や将来などを大切にしてほしいということ。また、私たちもあなたのことを大切に思っていることを伝えたいという想いを込めています。

次に「周り」です。家族や友達、近所の人、先生など、自分の目で見える範囲、手の届く範囲にいる人を大切にできる人になってほしいと思います。自分と周りの人は違うことをそれぞれ認めあうことができる人になってほしいと思っています。誰もが違って当然であり、すべてを理解し、認めることが難しくても、相手の気持ちを尊重してほしいという想いを込めました。

最後に「地域」です。一番小さな範囲で考えると近いところでは、町内や校区となりますが、日本、世界、地球など、直接自分の手が届かない社会全体まで広く考えて、大切にしてほしいという想いを込めました。また、その気持ちが郷土愛にも繋がっていくのではないかと考えております。

そして、今言った気持ちや考えをもった大人になれるよう、子どもたちと接する先生や大人にも向けたメッセージとなるよう、「大切にできる人になろう」とさせていただきます。

(渡辺委員)

新しい教育大綱は非常にシンプルでよいと思います。今話していただいた市長の想いを大綱に加えるかについては、今後考えていけたらいいと思います。

(中島委員)

シンプルで逆にインパクトがあると思います。特に、市長のお話を聞いて想いが伝わってきました。この中に幼保も加えていただけると、一人の人間を幼稚園・保育園の頃から高校生になるまで、見続けていくというメッセージになるのではと思います。

(西島委員)

一見すると、以前の大綱から大きく変わっていますが、市長の想いを聴くと方向性は同じであると感じましたので、そのことが大綱を見た人にうまく伝わればいいなと思いました。

(内浦委員)

3名の委員がお話しされた通りだと思います。夢を描こうと簡単に言えない時代になっていると感じますが、それでも夢を描くこと、失敗すること、努力することの大切さも忘れてほしくないと思います。

(原田教育長)

シンプルで誰にでも伝わりやすく、3つに絞られているのは良いと思います。「自分」は人、「周り」は人と物、「地域」は人と物と事だと感じました。子どもでもわかりやすく、覚えやすい。頭に入るようにしていくと良いと思いました。

(長坂市長)

前書きとして想いを1ページ程度にまとめたら良いかもしれません。シンプルだからこそ解釈の余地があるため、想いは入れたいが、あまり限定にたくないという気持ちもあります。

何をするにしてもスタート地点はまず「自分」であり、「自分」を大切にできなければ、目の前の人を大切にすることもできません。そのためには、子どもたちの自己肯定感を高めて、自信をつけさせてあげることが重要だと思います。大人がまず、子どもたちを大切にしなければいけないと思います。

(教育部長)

たくさんのご意見ありがとうございました。教育大綱につきましては、今後も継続して協議したいと思います。それではつづきまして、資料2を事務局から説明してください。

協議事項

2 いじめの現状と課題について

■学校教育課 指導主事 協議事項について資料説明

(教育部長)

それでは、説明に対する皆さまのご意見などをお聞かせいただければと思います。

(渡辺委員)

社会を見ればわかりますが、いじめを完全になくすことはできないと思います。しかし、リテラシーの教育をしていくことはできます。認知件数については説明がありましたが、

認知後の和解について教えてください。

(学校教育課 指導主事)

和解は非常に多く、解消率は9割以上です。

(渡辺委員)

和解の経験は非常に大切だと思います。このような経験を成長の糧としてほしいと思います。

(中島委員)

学校においていじめは避けられない問題だと思います。子どもたちの性格はそれぞれ違うので、同じことが起こっても、何とも思わない子と、過敏に反応してしまう子がいます。いじめをしなくて済むような、予防的な対策ができればよいと思います。

(西島委員)

認知件数が多いのは、豊橋において実際にいじめが多いのか、他市と比較していじめをしっかりと把握できているからなのかを精査してほしいと思います。社会全体が良い環境になれば良いと感じました。

(内浦委員)

先日開催されたオンライン研修会にて、各地の教育委員と話をしましたが、どこもスクールカウンセラーやスクールロイヤーが不足しているとの事でしたので、豊橋市でも増やしてほしいと感じました。

また、電話やライン等の無料相談について、夜間は非常に多いという話も聞きました。夜間も行われている相談先を周知してあげることも大切なのではと思いました。

(原田教育長)

認知件数も解決件数も増やして、次に向けてどうしていくか考えることが重要かと思っています。

(渡辺委員)

いじめやトラブル対応で、先生が本来の仕事である教育に専念できなくなってしまうこともあるのではないかと思います。そのあたりをスクールロイヤーが助けてくれば、先生の負担も軽くなるのではと思います。

(長坂市長)

学校において一定の言い合いや衝突が起こることは考えられますが、人間形成に影響を与えることもあります。いじめはいけないこと、良いいじめはないのだと、しっかりとメッセージとして打ち出していきたいと思います。

(教育部長)

たくさんのご意見ありがとうございました。つづきまして、資料3を事務局から説明してください。

協議事項

3 不登校の現状と課題

■学校教育課 指導主事 協議事項について資料説明

(教育部長)

それでは、説明に対する皆さまのご意見などをお聞かせいただければと思います。

(渡辺委員)

不登校への対策として、現状うまくいっているといえるのでしょうか。

(学校教育課 指導主事)

中学3年生については学校復帰が多くなった関係で減少しており、進路に向けて動き出しが早くなっていると感じています。また、進学先についても通信制など選択肢が広がっていることも影響していると思います。

(渡辺委員)

校内教育支援センターとエールームの違いについて確認したいです。

(学校教育課 指導主事)

類似していますが、エールームには専属の相談員が1名おります。また、休める場所、勉強をする場所、話せる場所などをフレキシブルにしており、校内教育センターより充実した環境となっています。

(渡辺委員)

必ずしも登校することがゴールではないため、子どもたちが生きる力をつけて、自立していくことができるように、勉強や生活をサポートしてあげてほしいと思います。

(中島委員)

低学年の行きしぶりについては私も認識しています。小さなころから心の健康について教えてあげる必要があると思います。また、幼保から小学校への連携がしっかりできるといいと思います。

行きしぶり傾向がある幼児について、小学校でもサポートしていく必要があると思うため、事前に情報交換ができると良いのではと感じています。

(西島委員)

全国で2倍に増えている現状がある中、豊橋で減少の兆しがあるのは、現場の努力であり応援していきたいと感じました。今後、外国の子どもたちがもっと増えてくることが予想されるため、市の施策にも影響してくるのではと思います。

(内浦委員)

不登校について施策を打ち出し、更にその効果が出て、検証までできていることが素晴らしいと思います。今出ている課題を一つ一つ解決していくことが重要かと思います。

(原田教育長)

入学前に幼保で夢中になって遊びこむ中で、自己肯定感を高めたり、相手との違いを認めあったりしていくことが、入学してからの不登校やいじめ防止にもつながると思います。そのため、入学前にどれだけ手を打つかが大切かと思います。

(長坂市長)

大人でも「今日行きたくないな」と思う日があると思います。行くのが当たり前ではなく、行くだけすごい事だと考えてほしいと思います。また、休みが続いてそのまま不登校化しないように、数日休んだ際には特に注意してサポートしてほしいと思います。

エールームは効果が出ていて素晴らしいので、今のセンターと何が違って、何が良いのかを是非検証してほしいと思います。また、人数の推移についても、一度不登校になってしまった子はそのままなのか、復帰できたのか、その検証もしてほしいと思います。

(渡辺委員)

不登校の始まりとして、おなかが痛い、頭が痛いという体の不調から始まる場合もあるため、そういった様子があれば注意してあげてほしいと思います。学校にエールームのような安全地帯があればよいと思います。

(教育部長)

ほかに何かありますか。それでは、本日の会議の総括を市長にお願いしたいと思います。

(長坂市長)

本日は非常に活発な議論をありがとうございました。教育大綱は次回以降も引き続き議論を行っていきますので、よろしく願いいたします。また、いじめ、不登校については、本日いただきました意見を是非生かしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

連絡事項

- ・次回開催日程 令和7年8月25日(月) 15:00～

(教育部長)

以上で、令和7年度第1回豊橋市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。